

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

エコチャレンジのきっかけ

ニュースで魚がプラスチックゴミを食べて死んでしまったというのを見たので、ぼくの住んでいる町の海はどうなのだろう？と思っ、て確認するため、町の海に行ってみました。パッと見ただけではゴミが落ちてなくきれいだと思っ、たが、よく見るとところどころにゴミが落ちてい、る。ぼくは思っ、た、ここにあるゴミを一つ拾うだけで、一匹の魚を救うことができるんじゃないかと。そこでぼくはお父さんとゴミ拾いに行くことにした。



30分、エコチャレンジ!!

30分間、ゴミ拾いをした。落ちていたのはビンやカン、ペットボトルが多かった。中には外国から流れてきたゴミ

もあった。ゴミは4割ぐらゐが流れてきたもの、6割ぐらゐが海で遊んだ人がほったらかしにしたものだと考えられた。



このゴミをひろおう



↑外国から流れてきたと思われるゴミ

川や海に遊びに行くときは、ポイすてをせずに、持ち帰ってほしい。

まとめ

ゴミを海にすてることにより、魚が食べてしまったり、そのゴミが外国にたどりつくと、他国の人がいやな思いをするので、ポイすては絶対にいけない。また、海で遊んだ人のゴミが多いため、きちんと持ち帰るなど、一人一人の意識が大切だと思っ、た。



30分でひろえたゴミ↑使えそうなカゴもゴミです。

◇活動の内容やわかったこと・感想、写真やイラスト（自由記入）

かていでできるエコ生活



水を大切に

かみの毛を洗う時に、シャワーをやめてお風呂のお湯を使う。

使っていないタオルでマスクを作ってもらった。



ムダにしない

ねる前にクーラーで冷やして、ねる時は窓をあける。



ゴミを減らそう

普段の生活に気をつけてみると、いろいろな所にかくれたエコ活動がありました。使っていない電気製品の電源を切ったり、シャワーを出しっぱなしにしないでこまめに止めたりしました。使わなくなったものは、捨てる前に再利用できないかを考えるのが楽しかったです。人も動物もずっと楽しく暮らせる地球になるように、みんながちょっとしたことに気をつけることが大切だと思います。

